

株式会社丸山工務店

Vol. 31

東京都江東区東砂3 15 7 ☎03(3648)5451(代) FAX03(3648)5485
編集発行人/岡田洋一 季刊

まるやまニュース



倒壊調査を行うスタッフ

10名編成で調査委員会



丸山調査委員長

生命・家族・身体・心・暮らし・財産・隣近所 損なわれてよいものは何ひとつありません。しかし大地震はこれらを一瞬にして破壊し奪い去ろうとします。しかも突然襲いかかってくる。被災地柏崎の現地の様子です。

7月16日午前10時13分、マグニチュード6.8、震度6強の大地震が新潟県柏崎市を中心とする一帯を襲いました。柏崎市が発表した被害実態は、死者11名、重傷負傷者186名、軽傷1804名、建物全壊1047戸・大規模半壊252戸・半壊1467戸・一部損壊19925戸となっています。絶対安全が喧伝された刈羽原発も一部損壊

様々な問題が露呈して一年間の停止が発表されました。私たちはこの間耐震委員会を中心に、消防庁や国土省関係機関等が発表する地震データを整理・掌握し、調査・取材の準備に努めました。かつて阪神大震災の時に準備不足で現地調査を行い、思

今だに鳥肌が立つ惨状！

9月25日午前10時30分柏崎着。被災後2ヶ月半が経ち、惨害の残材は片付いています。が倒壊家屋や損壊家屋の多くがブルーシートで覆われています。2班に分かれて1班は市内で調査・取材、もう1班

うような結果が得られなかった苦い経験があります。柏崎の調査・取材の目的は掌握した地震データを現地で確認し、教訓を實際に学ぶこと。及び被災者の皆様の生の声を真摯にお聞きすることの2点です。丸山・丸工会・大工職協議会の各代表に特別協力員が加わる、計10名の調査委員会が編成されました。

国内の最近の主な地震

- 1995年 1月17日 ● 阪神大震災。神戸市中央区などで震度7。死者6434人
- 2000・7・1 ● 伊豆諸島・神津島で震度6弱。1人死亡
- 10・6 ● 鳥取県西部地震。震度6強。約180人が負傷
- 01・3・24 ● 芸予地震。広島県で震度6弱。死者2人
- 03・5・26 ● 三陸南地震。岩手、宮城県などで震度6弱。170人以上がけが
- 7・26 ● 宮城県連続地震。宮城県で震度6弱と震度6強合わせて1日に計3回。670人以上が負傷
- 9・26 ● 十勝沖地震。北海道で震度6弱。死者1人、行方不明1人、けが人840人以上
- 04・10・23 ● 新潟県中越地震。震度7。67人死亡、4800人以上が負傷。新幹線が脱線
- 05・3・20 ● 福岡県西方沖地震。震度6弱。1人死亡、1000人以上が負傷
- 7・23 ● 千葉県北西部地震。東京都で震度5強。30人以上が負傷。エレベーター内の閉じ込めが多数発生、鉄道網もストップ混乱
- 8・16 ● 宮城県沖を震源とする地震、震度6弱。約100人が負傷
- 07・3・25 ● 石川県・能登半島で震度6強。1人死亡、300人以上が負傷
- 7・16 ● 新潟県と長野県で震度6強

新潟県中越沖地震！ その時・その後・そして今！

柏崎調査・取材の教訓・ポイント

- 1 新耐震基準に満たない古い住宅の被害集中（耐震診断の徹底と耐震改修の促進）
- 2 軟弱地盤対策が重要、液状化現象の多発
- 3 耐力壁量とバランスのチェック、継ぎ手と仕口のチェック
- 4 基礎のチェックと強化、無筋基礎の被害多発
- 5 家具転倒防止対策の徹底

は刈羽原発が近い宮川地区に向かいました。宮川地区の道路はまだうねったまま断裂や陥没が残されており、20cmも沈下した畑もあります。傾斜地では地滑りが発生し、神社では石灯籠や鳥居が崩落、墓地では墓石が通路を飛び越えて飛散、鳥肌が立ちます。建物の倒壊や半壊に見られる要因は、建築が古く基準法不適合住宅、基礎が無筋で割れや崩れが発生、通し柱の折れや割れ、白アリや

腐朽菌被害と老朽増築や改築などで構造に欠陥、軟弱地盤と液状化現象の発生等が確認されます。また瓦屋根が多く屋根重量が老朽家屋に悪影響を及ぼしています。特に地盤性状の善し悪しは致命的で、市内に建つ3階建てビルが建物本体は健全のまま、液状化現象の発生によって倒壊危険家屋と指定されている例もありました。不幸中の幸いと言えるのは

心打つメッセージ

調査委員会は20数名の被災者の皆様からの声を聞くことができました。尊い、かけがえないお話もたくさん伺うことができました。そうした皆様の私

達へのメッセージを紙面に要めると次のようになります。「大地震は恐ろしい！本当に怖い！ということを伝えて下さい。刈羽原発建設当初から地震の安全地域と言いつつ続けられてきたので、最初のものすごい突き上げを地震と感した人はいなかったと思います。大地震は突然来ます。自分だけは大丈夫という考えは絶対に改めて下さい！」



完全に倒壊した住宅

私達が持参した江東や江戸川や墨田の密集市街地写真を見て、心の底から呼びかけ、訴えて下さったメッセージです。被災された皆様は長い苦難の道のりを歩まれます。私達はこの大切な声に感謝し力の続く限り訴え続けてまいります。

